

## 令和7年度化学物質規制対策「大学・公的研究機関と連携した化学物質管理高度化推進事業」 報告会のご案内

経済産業省は、「大学・公的研究機関と連携した化学物質管理高度化推進事業」に関する令和7年度オンライン報告会を2月18日（水）に開催します。

経済産業省では、化学物質管理政策の一環として、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）や、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）等の法令に基づき、事業者における自主管理による化学物質管理の促進や、製造・輸入の規制等、様々な化学物質管理政策を推進しています。

本事業は、化学物質管理施策における諸課題について、国際的な潮流を踏まえつつ、今後の制度のあり方や新たな施策の立案等に資する調査研究を実施するものです。

将来にわたり継続して化学物質管理の高度化を推進していくためには、化学物質管理施策を担うことができる人材を発掘し育成することが不可欠となるため、大学・公的機関における若手研究者を対象に調査研究を募集し、公募の結果、今年度は5件の調査研究案件を採択しました。

本事業で採択した調査研究案件について、2026年2月18日に報告会を開催いたします。報告会では、各案件の実施者に調査研究の成果や今後の課題などを発表いただく予定です。

### <報告会概要>

日時	2026年2月18日（水）10時00分～16時30分
場所	会議形式 オンライン ※Microsoft社のTeamsを使用予定です。
主催	経済産業省
参加費	無料

<プログラム> 2月18日(水)

10:00-10:05	開会 経済産業省産業保安・安全グループ化学物質管理課化学物質リスク評価室
10:05-11:00	「パッシブサンプリング技術を用いた水環境における化学物質存在状況評価手法の確立」 静岡県公立大学法人静岡県立大学 野呂和嗣助教
11:05-12:00	「化学物質のライフサイクルを踏まえた POPs や重金属の環境及び生態への影響評価」 公立大学法人北九州市立大学 伊藤理彩准教授
12:00-13:30	休憩
13:30-14:25	「経口暴露による化学物質の魚体内動態と取込経路組織由来の代謝酵素画分による in vitro 分解との相関」 国立大学法人鹿児島大学 山崎雅俊助教
14:30-15:25	「AI 技術を用いた魚類における『代謝されにくさ』を決定づける化学物質の特徴探索」 国立大学法人九州工業大学 飯田緑准教授
15:30-16:25	「非遺伝毒性肝発がん性の核内受容体活性化プロファイルに基づく評価の有用性検討」 静岡県公立大学法人静岡県立大学 志津怜太准教授
16:25-16:30	閉会 経済産業省産業保安・安全グループ化学物質管理課化学物質リスク評価室

※各報告時間には質疑応答（10分程度）を含みます。

<申込み方法・問合せ先等>

申込み方法	参加希望者リストに必要事項を記載の上、電子メールで参加申し込みをしてください。 申込先：E-mail: bz1-risk-gijutsu@meti.go.jp 申込期限：2026年2月6日(金)
問合せ先	経済産業省産業保安・安全グループ化学物質管理課化学物質リスク評価室 鈴木、伊藤 E-mail: bz1-risk-gijutsu@meti.go.jp ※電子メールでのお問い合わせをお願いします。